

未来へ



おおさわ学園
三鷹市立第七中学校
第3学年 進路だより
No.5 2018.5.7
校長 勝野 能光
進路指導主任 木村智佐子

先輩からのメッセージ①

今年卒業した先輩が、卒業前に君たちへのメッセージとして「私の受験体験記」を書き残して残っています。この進路便りでいくつか紹介していくので、自分にあてはめながら読んでください。

◇中学3年生になると同時に受験生となった私は、受験がどのようなものかわからず、まだ受験勉強をする必要がないと思っていたため、今までと変わらない勉強をして夏休みを迎えた。

夏休みに入る直前、私が目指している高校に進学した一つ上の先輩から、「夏休みは本当に大切にしたほうがいい。」「夏休みの過ごし方で受験が変わる。」と言われた。そのうえ、母にも塾の先生にも夏休みを大切にするように言われていたので、夏休みに入ると、朝の9時から夜の9時半までほとんど毎日自習をしに塾へ行った。英語はリスニングと長文と文法、数学は応用問題、国語は長文、理科と社会は1年生からの復習を繰り返すということをできるだけ毎日やっていた。しかし、1年生から習ってきたものがしっかりと定着できておらず、復習にはとても時間がかかった。

夏休みが終わり、2学期が始まった。2学期の内申が受験に大きく関わるため、私は1学期以上に定期テストに力を入れ、テストの1、2週間前は受験勉強を中断し、テスト勉強のみに集中した。その甲斐あって、2学期の内申は1学期に比べてとても伸ばすことができた。テスト期間以外では、受験に向けて夏休みと同じように勉強した。2学期からの受験勉強で、先輩や母、先生方から言われた「夏休みを大切に」の言葉の意味が少しわかったような気がした。夏休みは学校がなく一日中フリーなので、時間がたっぷりあり、毎日全教科みっちり勉強することができたが、2学期は学校が始まり、大切なテストもあるので、受験勉強に費やすことのできる時間が少なく、あれもこれもと全教科にじっくり時間をかける暇がなくなったのだ。

また、進路の話をもとにするうち、他の高校のほうがいいのではと考え始め、2学期になってから志望校を変えた。

冬休みに入った。冬休みが終わると、私立の推薦から始まり、次々と受験がくるので、私は焦っていた。比較的理科では点数が取れるものの、社会が苦手だったので、理科に費やす時間を少し削って社会の勉強時間にあてた。このようにしたことで、後に理科の点数をキープしながら社会の点数を伸ばすことにつながった。冬休みが終わり、受験まで残りわずかになった。時間があまりないため、短時間で全教科に取り組み、余る時間は苦手なものに費やした。

私立受験の日になった。私はとても緊張していたが、自分の力を精一杯出し切ることができた。私立高校を3校受け、2校は合格することができた。しかし、私立受験から都立受検までの約2週間、私は何をすればよいのかあまりわからなかった。また、集中力も落ちてしまっていた。この時間をもう少し効率的に使っていれば……と思う。

都立受検当日、第一志望としていた高校の受検だったため、私立の時より何倍も緊張し、思うように力を出し切ることができず、結局不合格になってしまった。しかし、今までやってきたことを信じて全力で取り組めたので、悔いはないと思う。

といっても、私は受験を通して思ったことが二つある。一つ目は、夏休みより前から、言ってしまえば中学校に入学した時から、一つ一つしっかりと復習をして、定着しておくべきだったということだ。二つ目は、できるだけ早い時期に、もっとたくさんの高校を見ておくべきだったということだ。

私は特に一つ目がとても大切だと思った。受験生になるとやる事がたくさんあるし、3年間のすべてをやり直すとなると、とても時間がかかってしまい、自分の苦手なものにかける時間の余裕をもつことができなくなってしまう。このようなことは実際に受験生になってみないとわからないかもしれないが、私はとても後悔している。このことをできるだけ早い時期に知ってほしい。

これは、都立高校の合格発表のわずか数日後に、つらい気持ちを乗り越えて書いてくれたものです。失敗から学んだ言葉の重みを感じます。みんなはこの貴重な先輩のメッセージを無駄にしないようにしっかりと受けとめ、今日からすぐに行動に移してください。

受験に使う2学期の成績のデータはもうすでに積み上げられている

上記の体験記に、「2学期の内申が受験に大きく関わる」とありましたが、受験に使う2学期の評価・評定は、1、2学期の合算で算出します。その合計の仕方は教科の特性にもよるので、教科ごとに多少違います。単純に合計する教科もあれば、2学期のほうが比重を少し高くしている教科もあります。ただ、どちらにしても、1学期の評価材料になるものはすべて2学期の成績に使われるのです。春休み明けの国・数・英のテスト、4月の提出物、小テスト、今日提出の連休中の課題、そして、授業の取組など、どれも精一杯努力した結果を残していますか。「時間の使い方」を見直して、一つ一つしっかりと積み上げていきましょう。

進路情報室や図書館の活用

進路情報室を開放してから、多くの生徒（2年生も！）が訪れています。まだ自分のお目当ての資料がないかもしれませんが、ちょっと立ち寄ってみるだけでも、何か役に立つ情報を得ることができるかもしれません。また、私（木村）もよくいるので、相談事や質問があればその場で答えたり、他の先生につないだりすることができます。「図書館で勉強していた」という先輩のお話を参考にしてくか、最近、図書館で勉強をしている人もいます。ただし、図書館はおしゃべり厳禁ですから、集団では行かないなどのルールは守ったうえで、上手に活用してください。

チャレンジ！英検・漢検・数検はできるだけ取得しよう

進路便りNo.4で例に挙げた推薦や併願優遇の条件の数値で、「英検・漢検・数検3級は、9科の評定合計に+1」などという加点制度がある高校があります。中には「2種類あれば、+2」というところもあります。もちろんそれだけでなく、検定に向けた勉強自体が役に立ちます。2学期はさらに忙しくなるので、1学期のうちにできるだけ取得しておくのがよいでしょう。なお、校外で受験した人も含め、合格の証明書は後に使うので、家庭できちんと保管しておいてください。

♥最初の一步を確固として踏み出さない。階段全体を見る必要はない。ただ、最初の一步を踏み出さない。（キング牧師）

★進路便りは必ずその日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。